

記入のしかた

(家計上の次の事項を記入します。)

勤労者世帯及び無職世帯のかたは → 「収入」・「支出」・「前期からの繰越金」・
「本日の現金残高」

勤労者世帯及び無職世帯以外の世帯のかたは → 「支出」のみ

なお、家計簿とは別に、記入開始1か月目の後半に、全世帯のかたに過去1年間の年間収入を、別にお配りする「年間収入調査票」に記入していただきます。

★1日1ページで書ききれないときは、次のページを使って記入してください。また、収入・支出などが全くなかった日についても、そのページに「支出なし」と記入します。(いずれも、日付及び曜日も記入します。)

〈日々の収入・支出の記入のしかた〉

現金収入があった場合は 「I 現金収入又は現金支出」欄に記入します。
【記入例1】を参考にしてください。

- どのような種類の収入かがわかるように記入します。
- 給料、年金、恩給などの口座自動振込は、現金でもらってすぐ預貯金したと考えます。
- 預貯金を引き出したときは、「現金収入」として、「〇〇預(貯)金引き出し」と記入します。

現金で代金や料金を支払った場合は 「I 現金収入又は現金支出」欄に記入します。
【記入例2】を参考にしてください。

- 何を、何に使うか、また、品物の名前を具体的に記入します。ただし、ご自身で消費する食料品、日用品は、品名(何を)だけ記入すれば結構です。

銀行などの口座自動振替を利用して支払った場合は 「口座自動振替による支払」欄に記入します。
【記入例3】を参考にしてください。

- 1ページの「口座自動振替による支払」欄にまとめて記入します。

品物をクレジットカード、掛買い、あるいは月賦で購入した場合は 「II クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物」欄に記入します。
【記入例2】を参考にしてください。

- クレジットカードを利用して品物を入手したときには、「クレジットカード名」と「支払回数」を記入します。
- 掛買いは「一括払い購入」、月賦購入は「分割払い購入」とし、「支払回数」を記入します。

- 代金を支払ったとき

現金で支払えば	代金を支払った日の「I 現金収入又は現金支出」欄に記入します。
口座自動振替で支払えば	1ページの「口座自動振替による支払」欄に記入します。

「もらい物」をしたり、「自家産」や「自分の店の商品」を家計にまわして使った場合は 「II クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は現物」欄に記入します。
【記入例2】を参考にしてください。

- 品物を入手したときに、何を、どこからかがわかるように記入し、金額は市価で見積もって記入します。

電子マネー(カード型、携帯電話型など)、商品券、小切手などの扱いは 【記入例2-2】を参考にしてください。

記入例 1

収入の記入のしかた

※青字による例示については、実際のご記入では色を変える必要はありません。

◎ 現金で受け取った場合の例 (勤労者世帯)

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 現金支出 (円)
1 1月分 本給	253,000	
2 通勤手当	12,300	
3 所得税		5,450
4 住民税		7,400
5 健康保険料		10,660
6 公的介護保険料		1,599
7 厚生年金保険料		19,366
8 雇用保険料		1,062

*給料は、税引き前の額を「現金収入」欄に、また、給与から差し引かれた額を「現金支出」欄に、それぞれ種類別に記入します。

← *厚生年金基金などは、分けて記入します。

(現金収入の合計265,300円と現金支出の合計45,537円の差が、現金手取分219,763円になります。)

(無職世帯)

1 老齢年金(厚生年金)	223,200	
2 公的介護保険料		3,800
3 家賃収入 2月分	80,000	

← *年金はどのような種類のものか、詳しく記入します。

◎ 口座自動振込した場合の例 (勤労者世帯)

(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入 (円)	(3) 現金支出 (円)
1 1月分 本給	253,000	
2 通勤手当	12,300	
3 所得税		5,450
4 住民税		7,400
5 健康保険料		10,660
6 公的介護保険料		1,599
7 厚生年金保険料		19,366
8 雇用保険料		1,062
9 給与口座自動振込分		219,763

*給料の明細を、「現金で受け取った場合の例」と同じように記入します。

← *口座自動振込額は、現金でもらってすぐ預貯金したと考えるので「現金支出」欄に記入します。

※ 給料の一部を現金で受け取り、残りを口座自動振込した場合
給料差引支給額219,763円のうち、100,000円を現金で受け取ったときは、
給料口座自動振込分に119,763円と記入します。

(無職世帯)

1 老齢年金(厚生年金)	223,200	
2 公的介護保険料		3,800
3 口座自動振込		219,400

*口座自動振込は、手持ち現金に動きがなく、記入もれになりやすいので注意してください。

記入例 2

支出の記入のしかた

各期の第1日目(1日又は16日)に、前日から繰り越した手持ち金額を記入します。

1 日(火曜日)

品名などの書き方

*「うどん・そば」は、ゆでたものか干したものかなどを区別して記入します。

*「魚」「肉」「野菜」「パン」などではなく、品名を具体的に記入します。

*誰に使うものかを記入します。

*何に使うためかを記入します。

*月ぎめの牛乳、新聞などは、代金を支払った日に「現金支出」欄に記入します。
(日々の掛買いとはしません。)

*友人と2人で食事に行って友人の分も支払った場合

クレジット、掛買い、月賦購入

*品物入手したとき、その都度品名、数量を記入します。

*家電製品、家具、自動車などを月賦(分割払い)で購入したときは「価格総額」を、また「支払回数」も記入します。

*一括(1回)払いの場合には、「1 一括払い購入」を○で囲みます。

*クレジットカードで購入した場合は、「クレジット名」と「支払回数」を記入します。
他人にあげた場合は、その旨明記します。

*クレジットカードで友人の分も支払った場合は、クレジット名、支払回数、本人も含めた人数を記入します。

I 現金収入又は現金支出

前期からの繰越金 (手持ち現金)		83,060 円
(1) 収入の種類又は支出の品名及び用途	(2) 現金収入(円)	(3) 現金支出(円)
1 中かうどん		320
2 ほうしん草		186
3 あじ(生)		330
4 豚肉		630
5 かき(貝)		612
6 バターロール(8コ入り)		200
7 靴下		1,050
8 ポロシャツ(父親へ)		2,625
9 リンゴ(病気見舞い)		1,800
10 おし出前(来客用)		4,800
11 エアコン月賦支払 初回分		26,000
12 牛乳代 12月分		2,835
13 ○○新聞 12月分		3,925
14 昼食(おし)		2,000
15 " 友人分並て替之		2,000
合計		49,313
本日の現金残高		33,747 円

II クレジットカード、掛買い、月賦による

購入又は現物(もらい物(現物給与を含む。)、自家産、自分の店の商品)

- * 掛買いで購入したときは、「1」一括払い購入、月賦で購入したときは、「2」分割払い購入を○で囲みます。
- * 現物とは、よそからもらい物をしたり、勤め先から定期券等を支給されたりした場合、また、自家産のものを家計に取り入れたり、自分の店の商品を家計にまわしたりした場合をいいます。
- * それらの品物入手した際に必ず記入します。

(1) 品名及び購入方法 右の該当するものを○で囲んでください	1	2	3	4	5	(2) 金額 もらい物(現物給与を含む)自家産、自分の店の商品は見積り額(円)	
	一括払い購入	分割払い購入	もらい物	自家産	自分の店の商品		
1 エアコン月賦購入 6回払		①	2	3	4	5	126,000
2 背広 ○○カード 1回払	①	2	3	4	5		42,000
3 清酒	①	2	3	4	5		1,800
4 婦人靴(知人へ)○○クレジット 1回払	①	2	3	4	5		10,290
5 しょう油	①	2	3	4	5		570
6 みそ	①	2	3	4	5		500
7 食(中華料理友人と3人分)○○クレジット1回払	①	2	3	4	5		12,000

備考 { ここには、この日の記入内容で特に説明を要することや参考になることがあれば記入してください。 }

「自動車購入費」「パック旅行費」「住宅設備工事費」「婚礼費」「法事・葬儀費」「入院費」のような高額な支出は、家計簿への記入が忘れがちになります。これらへの支出があった場合も、忘れずに家計簿へ記入してください。